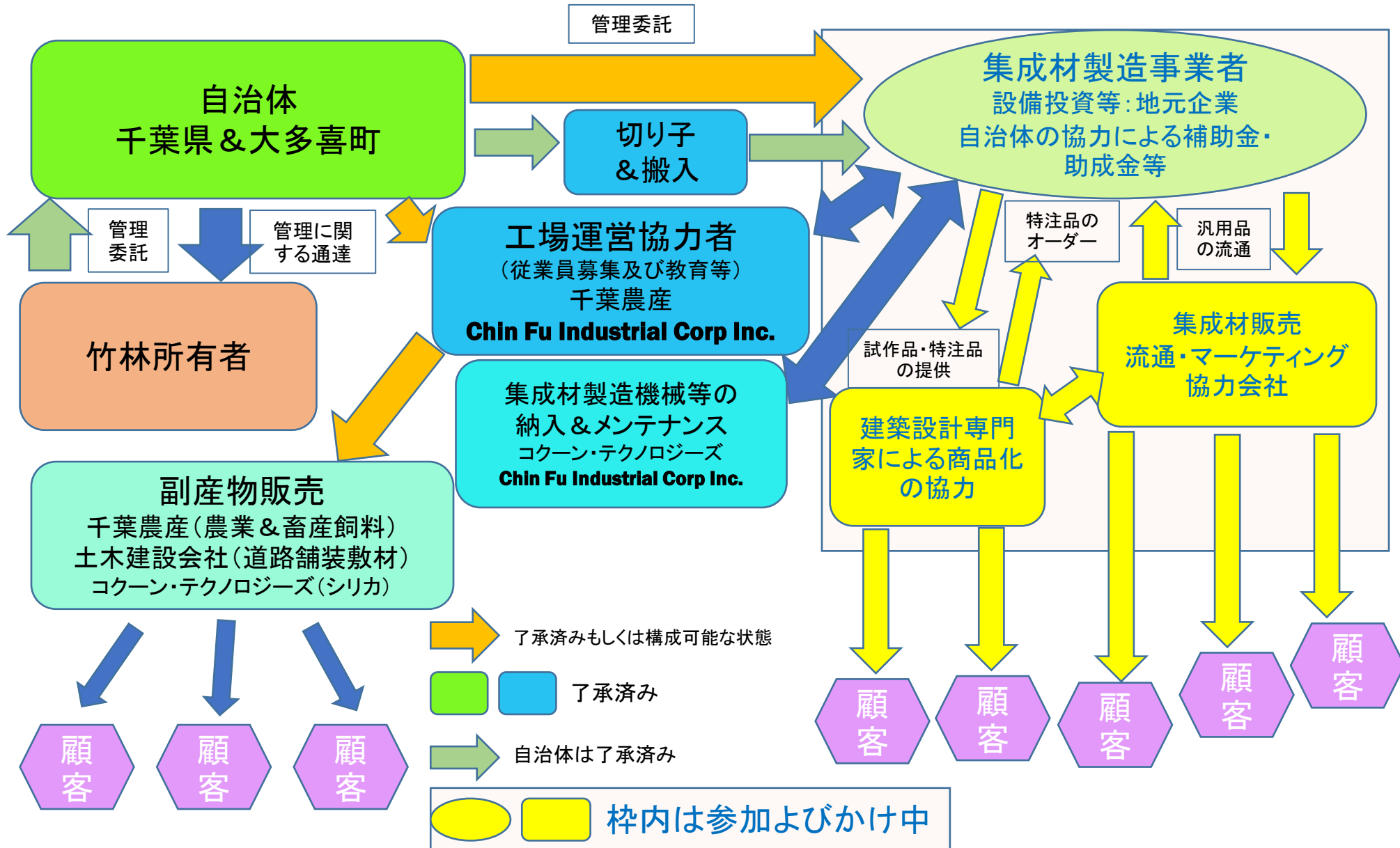


事業を構成するために必要なプレーヤー



竹を使用した竹合板の開発②



竹の合板を使用したトラック床材

竹は成木になるまで5年程度と、アピトン・アカシアに比べて圧倒的に短い事が特徴として挙げられます。また、最大の特徴としてササクレ・ヤニ・割れも少なくアピトン・アカシアに比べ強度も高い事から、過酷な環境下においての使用でも長期に渡ってご使用いただけます。コストにおいても従来品と同程度で、価格も安定しています。



縦型集成材



厚さ 15~28mm

3プライ合板より強度がやや高い

最大350mm×2,400mm

3プライ合板



厚さ 8~15mm

歩留りが良いため縦型より低コスト

最大1,200mm×2,400mm (1枚)

※長さ方向スカーフジョイントにより11mまで可能

集成材の製造過程で産出された竹粉の利用に関して

集成材製造に使用できない枝葉の減容処理(1/200~1/400)及びシリカ精製

竹粉を主原料とした食器(プラスチック製品の代替)



道路舗装材としての利用
(児童・幼児・高齢者等の弱者に対するヒートアイランド対策)



竹の集成材を利用 した製品 フローリング材・ 家具・小物

